

こども支援プロジェクト

～これまでと今後の取り組み～



名寄市立大学 松岡研究室

☎ 01654②4194

FAX 01654③3354

✉ matsuka.lab@nayoro.ac.jp

HP <http://www.nayoro.ac.jp>

こどもの学習支援
「もっちもち」
こども食堂
「だだちゃ」
こどもの居場所
「すぴか」

こども支援プロジェクト をはじめました！

平成28年8月12日(金)に市民文化センターでこどもの学習支援「もっちもち」、こども食堂「だだちゃ」、こどもの居場所「すぴか」(こども支援プロジェクト)がスタートしました。子どもたちや保護者あわせて約40人と大勢の方々に参加していただきました。その後、本プロジェクトは9回開催され、延べ200人以上の方々に参加していただきました。

本プロジェクトのキーワードは「地域」です。地域のなかで子どもたちや家庭の学習や食事、居場所という場をつくるうとしたのが始まりで、市立大学、市、市教育委員会、社会福祉協議会で協力、連携して行われています。本プロジェクトの順調な滑り出しと、子どもたちや保護者から「また参加したい」「子どもが楽しみにしている」などの声をいただけていることに感じています。



▶こどもの学習支援「もっちもち」



▶こどもの居場所「すぴか」

これからの予定

今後、本プロジェクトが飛躍するためには、やはり地域の人々の力が大切です。少子化や高齢化が叫ばれる昨今、それを活かした地域づくりやまちづくりが大切になります。そしてそれを活かすヒントは、地域に住む一人ひとりの力に委ねられています。

まわりを見渡せば、名寄には子育てや高齢者のサークルなど草の根的な取り組みがいくつもあります。本プロジェクトも地域を豊かにする多くの資源の1つとして、浸透していけたらと思っています。

そのために、平成29年4月から本プロジェクトは、これまでのように子どもたちや保護者、学校関係機関、地域などの協力を得ながら「市立大学コミュニティケア教育研究センター」で取り組んでいきます。



▶こども食堂「だだちゃ」



▶こども食堂「だだちゃ」

大学生の感想 子どもたちとの関わり中で 見つけた「楽しい！」

今回、このプロジェクトを運営し、参加しての率直な感想は、子どもたちとのかわりが「楽しい！」ということでした。

「もっちもち」では、わかりやすく教える難しさを感じながら一緒に勉強し、「すぴか」では、鬼ごっこやかくれんぼ、折り紙などをして子どもたちとともに時間を過ごしました。また、子どもたちが通う学校の事情なども話してくれて、自分の小さいときとの違いを感じました。「だだちゃ」では、調理を楽しみにしている子どもたちや、積極的に後片付けを手伝ってくれる子どもたちに助けられながら、みんなで楽しく食えることができました。そして帰り際に、子どもたちから「またゼツタイ来る！」や「今度はいっつ？」などと嬉しい感想をいただくことができ、それが私たちの励みにもなりました。

このプロジェクトを通じて子どもたちと関わることの「楽しさ」を実感しました。子どもたちや保護者の方々、市民の皆さま、本プロジェクトを今後ともよろしくお願ひします。

名寄市立大学社会福祉学科
谷口・神藤・新沼・小澤・大平・近藤・持田・和田・尾形・信夫・林川